

2019年度

堺市二次医療圏「地域医療構想」 現状と今後の方向性

大阪アプローチ

圏域ごとのデータに基づく分析をもとに
公民のイコールフットイングで
病床機能分化の議論を進める

Contents

1 堺市二次医療圏の概要

- (1) 今後の医療需要の見込み
- (2) 医療体制の概要
- (3) 疾患別の状況
- (4) 入院患者の推移
- (5) 在宅医療提供体制
- (6) 診療実態の分析の結果

2 高度急性期から急性期(急性期一般※)の概要

- (1) 病床の現状
- (2) 患者受療・医療提供状況(NDB)
- (3) 現状と課題のまとめ

※急性期一般入院基本料 (旧7対1、10対1)

3 急性期(地域一般※)から回復期の概要

- (1) 病床の現状
- (2) 患者受療・医療提供状況(NDB)
- (3) 現状と課題のまとめ

※地域一般入院基本料 (旧13対1、15対1)

4 長期療養(慢性期)の概要

- (1) 病床の現状
- (2) 患者受療・医療提供状況(NDB)
- (3) 現状と課題のまとめ

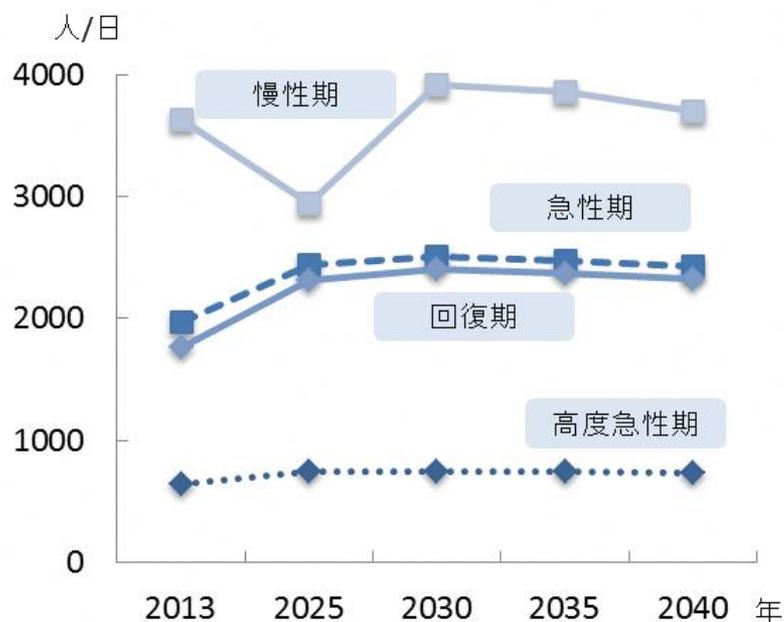
5 将来のあるべき医療体制に向けて

- (1) 2025年に各病院が検討している
病床機能
- (2) 2025年に各病院が検討している
病床機能のまとめ

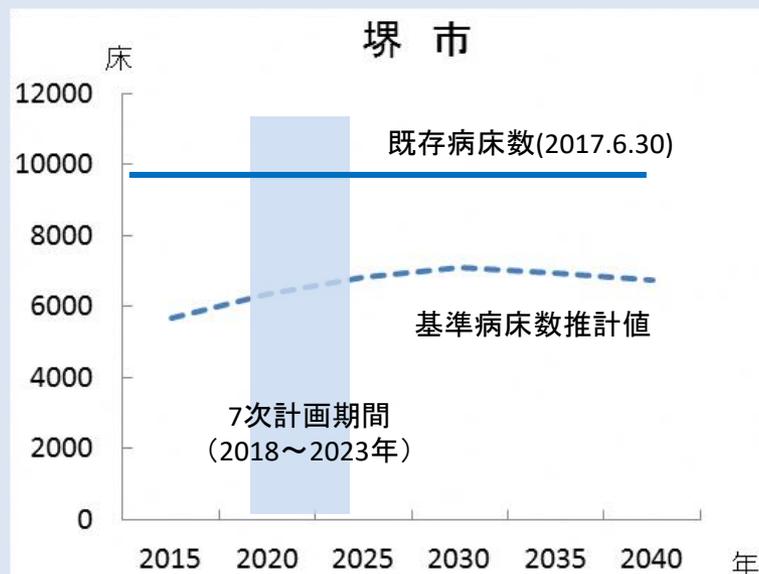
1 堺市二次医療圏の概要 (1) 今後の医療需要の見込み

堺市二次医療圏では、今後、2030年をピークに医療需要(特に、急性期と回復期)が増加する見込みである

● 病床機能ごとの医療需要の見込み(総計)



● 基準病床数の見込み



基準病床数の将来見込みでは、2030年においても、既存病床数に達しない見込み。

	2013年	2025年		2030年		2035年		2040年	
	(人/日)	(人/日)	対2013年	(人/日)	対2013年	(人/日)	対2013年	(人/日)	対2013年
高度急性期	646	744	1.15	749	1.16	739	1.15	731	1.13
急性期	1,973	2,440	1.24	2,513	1.27	2,476	1.26	2,428	1.23
回復期	1,763	2,314	1.31	2,408	1.37	2,373	1.35	2,323	1.32
慢性期	3,631	2,945	0.81	3,913	1.08	3,857	1.06	3,697	1.02
合計	8,013	8,443	1.05	9,583	1.20	9,445	1.18	9,179	1.15

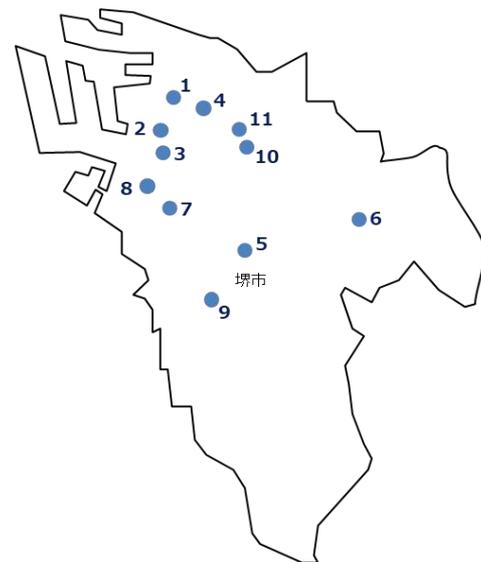
参照：第7次大阪府医療計画
一部改編

1 堺市二次医療圏の概要 (2) 医療体制の概要①

堺市二次医療圏では、新公立病院改革プラン補足調査対象病院が1病院、公的医療機関等2025プラン対象病院が5病院である

● 主な医療施設の状況

所在地	病院名	新公立病院改革プラン補足調査対象	公的医療機関等2025プラン対象病院	特定機能病院	地域医療支援病院	社会医療法人開設病院	公的医療機関等	府立病院機構	在宅療養後方支援病院	がん診療拠点病院	三次救急医療機関	災害拠点病院	特定診療災害医療センター	周産期母子医療センター	感染症指定医療機関	結核病床を有する病院	エイズ治療拠点病院	
堺区	1 清恵会病院					○			○									
	2 耳原総合病院		○		○	○			○	○								
	3 堺市立重症心身障害者(児)支援センター						○											
	4 大阪医療刑務所病院						○											
中区	5 ベルランド総合病院		○		○	○			○				○					
東区	6 社会医療法人頌徳会日野病院						○											
西区	7 堺市立総合医療センター	○			○		○			□	○	○			○			○
	8 社会医療法人ベガサス馬場記念病院		○		○	○			○									
南区	9 医療法人恒進會泉北陣内病院								○									
北区	10 独立行政法人労働者健康安全機構大阪労災病院		○		○		○			□								
	11 独立行政法人国立病院機構近畿中央呼吸器センター		○				○			○							○	○
合計		1	5	0	5	5	5	0	4	5	1	1	0	1	1	1	1	2



2019年5月末時点
【対象病院数39の内訳】
公立病院：1
公的病院：5
民間等病院：33

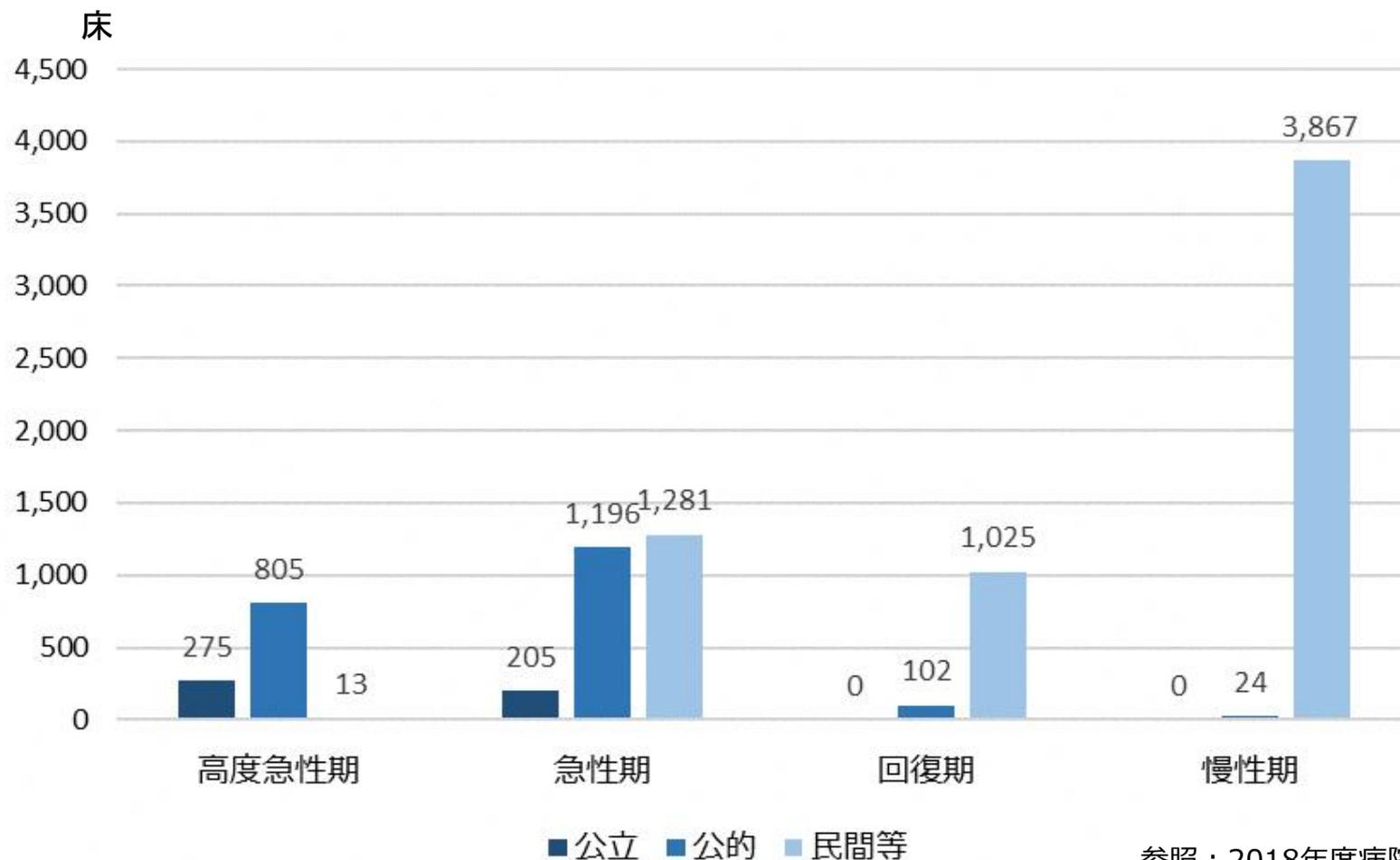
※ 「がん診療拠点病院」の□印は「地域がん診療連携拠点病院(国指定)」、○印は「大阪府がん診療拠点病院(府指定)」を示す。

※ 「周産期母子医療センター」の○印は「地域周産期母子医療センター」を示す。

1 堺市二次医療圏の概要 (2) 医療体制の概要②(病床機能別実態)

急性期・回復期・慢性期において、
民間病院等が有する病床数が多い

● 病床機能別病床数(病院プラン等提出37病院(公立1、公的5、民間等31))

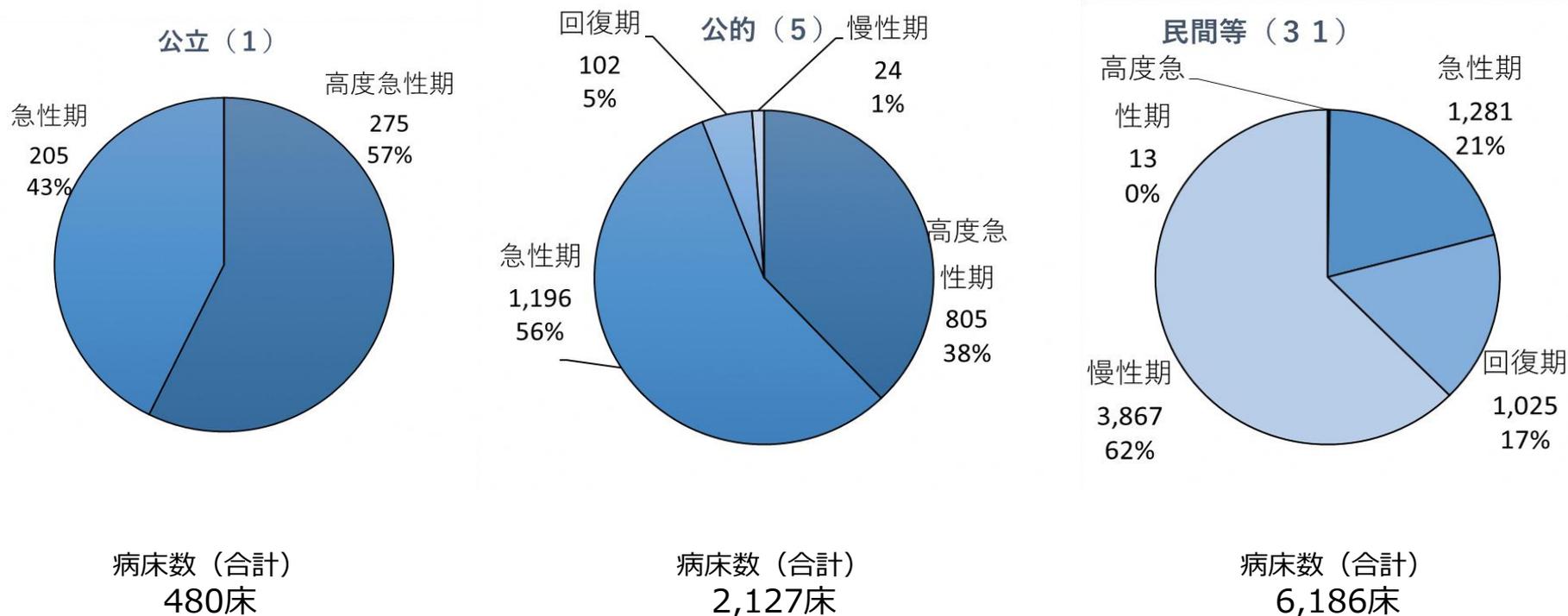


参照：2018年度病院プラン調査等

1 堺市二次医療圏の概要 (2) 医療体制の概要③(公民別病床機能)

公立・公的・民間等、それぞれにおいて有する 病床機能の割合は異なっている

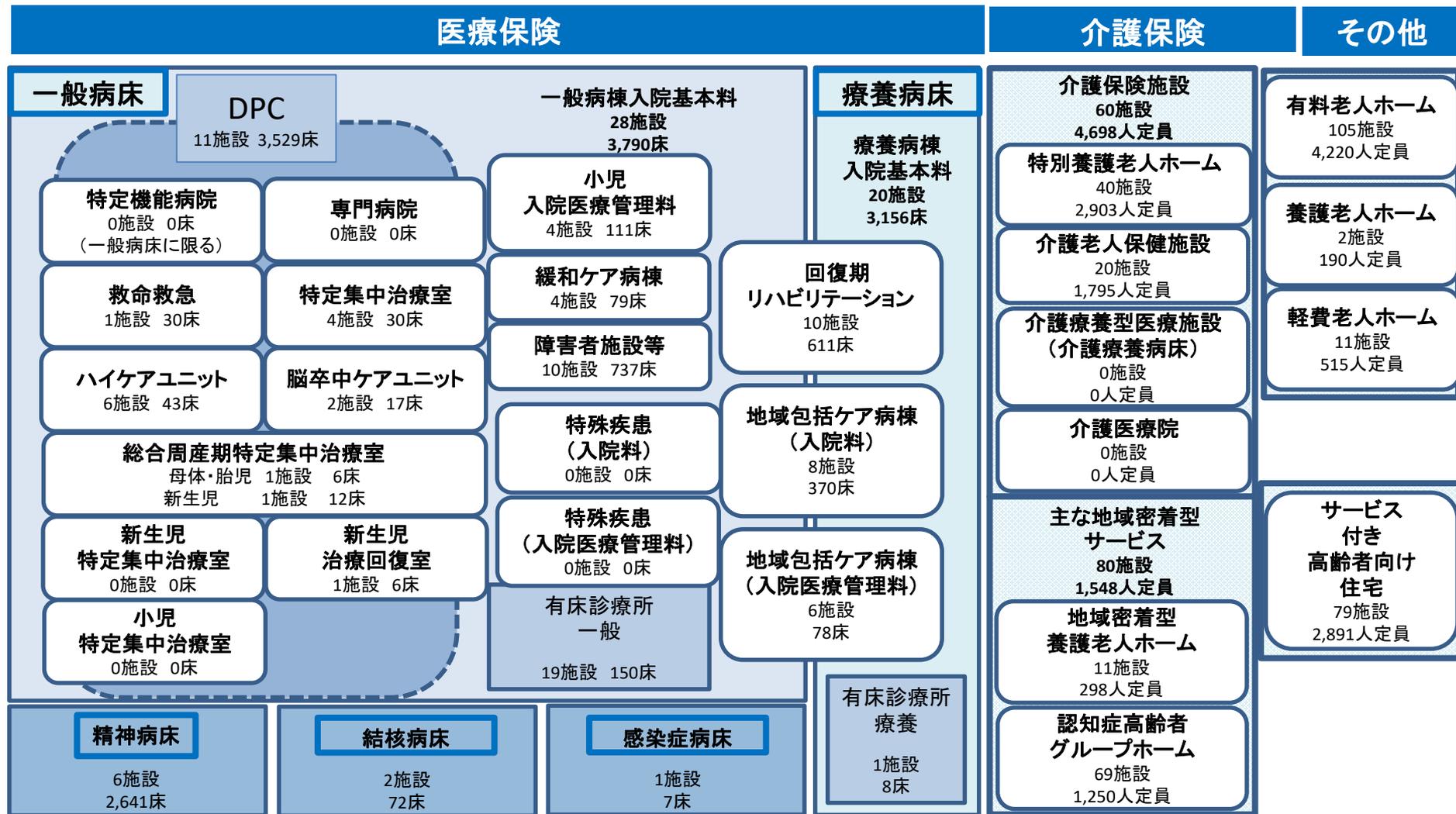
● 公民別病床数の病床機能別割合(病院プラン等提出37病院(公立1、公的5、民間等31))



参照：2018年度病院プラン調査等

1 堺市二次医療圏の概要 (2) 医療体制の概要④(医療介護提供体制)

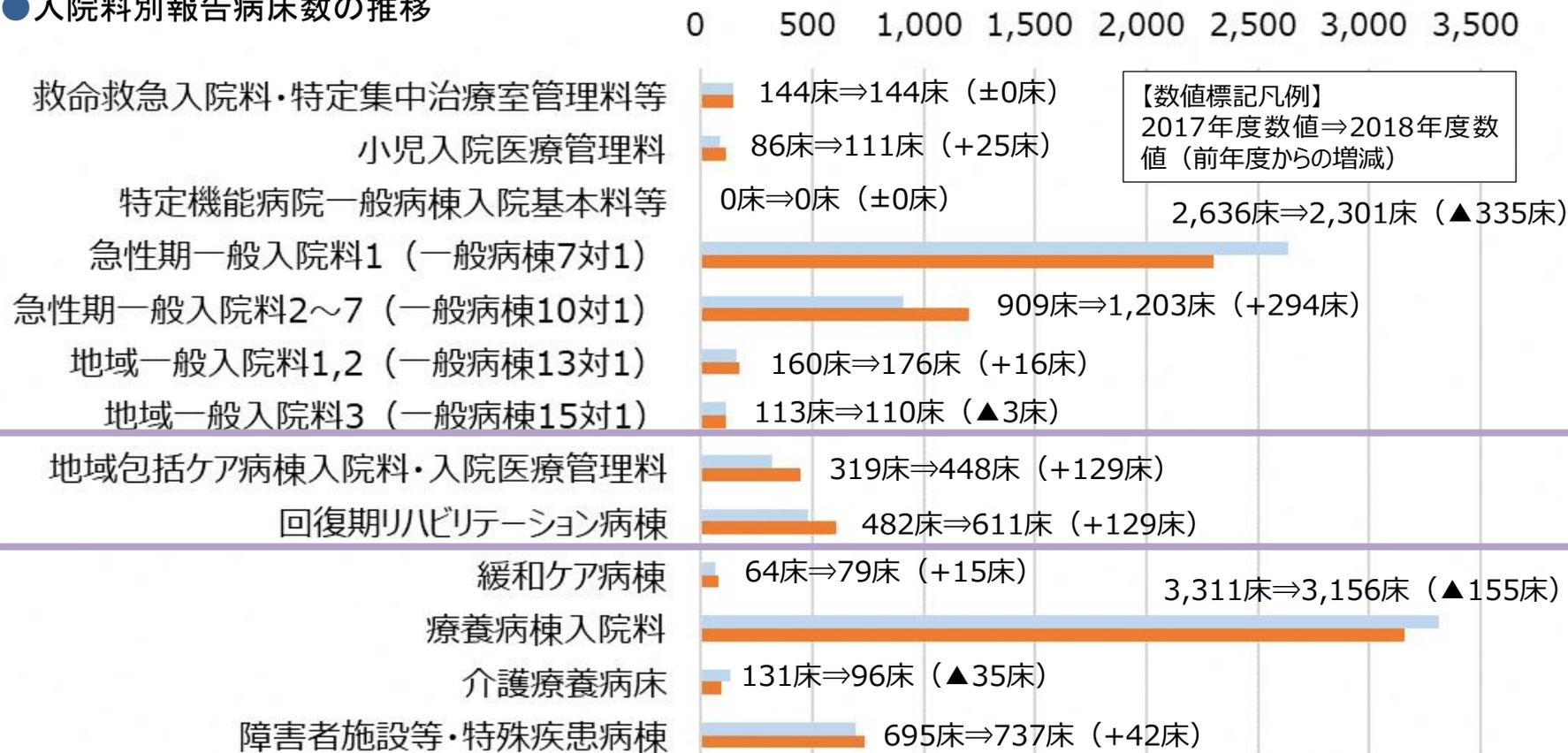
医療・介護提供体制は、多くの機能・施設から構成されている



1 堺市二次医療圏の概要(2) 医療体制の概要⑤ (入院料別の経年変化)

地域包括ケア病棟・回復期リハビリテーション病棟 報告病床数は、増加傾向

●入院料別報告病床数の推移



【数値標記凡例】
2017年度数値⇒2018年度数値
(前年度からの増減)

■ 2017 ■ 2018

出典 病床機能報告 (結果は暫定集計)

1 堺市二次医療圏の概要 (2) 医療体制の概要⑥(転換補助金)

「病床転換促進事業補助金」の交付病院数は府全体で増加傾向であり、堺市二次医療圏においては2病院に対し、交付実績がある

病床転換促進事業補助金（実績）

大阪府全体

	補助金交付病院数			補助金交付病床数		
		(内) 病床転換完了	(内) 公立・公的病院		(内) 病床転換完了	(内) 公立・公的病院
2015年	3	3	3	119	119	119
2016年	5	3	0	103	63	0
2017年	7	5	2	303	125	41
2018年	8	6	0	315	285	0
合計	23	17	5	840	592	160

堺市

	補助金交付病院数			補助金交付病床数		
		(内) 病床転換完了	(内) 公立・公的病院		(内) 病床転換完了	(内) 公立・公的病院
2015年						
2016年						
2017年	1	0	0	158	0	0
2018年	1	1	0	158	158	
合計	2	1	0	316	158	0

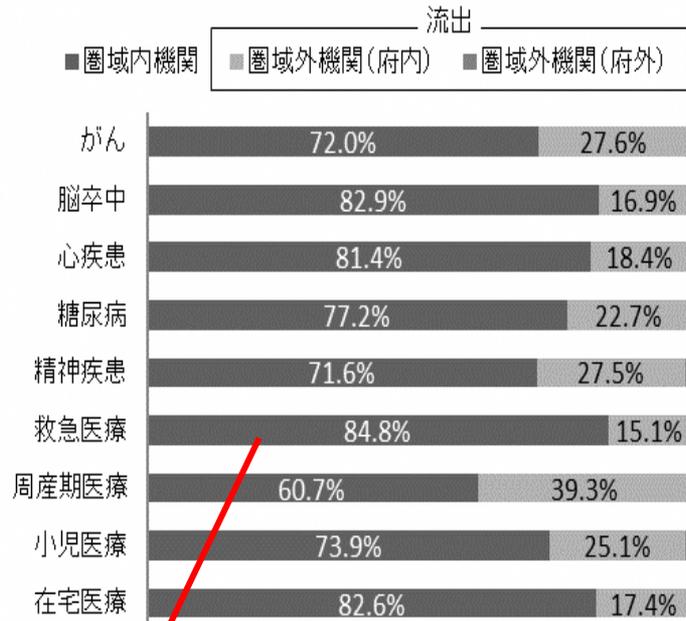
1 堺市二次医療圏の概要 (3) 疾患別の状況①(患者受療状況)

疾病・事業の自己完結率は7割以上がほとんどと比較的高く、ほとんどの疾病・事業において、流入超過の傾向が見られる

○5疾病4事業・在宅医療

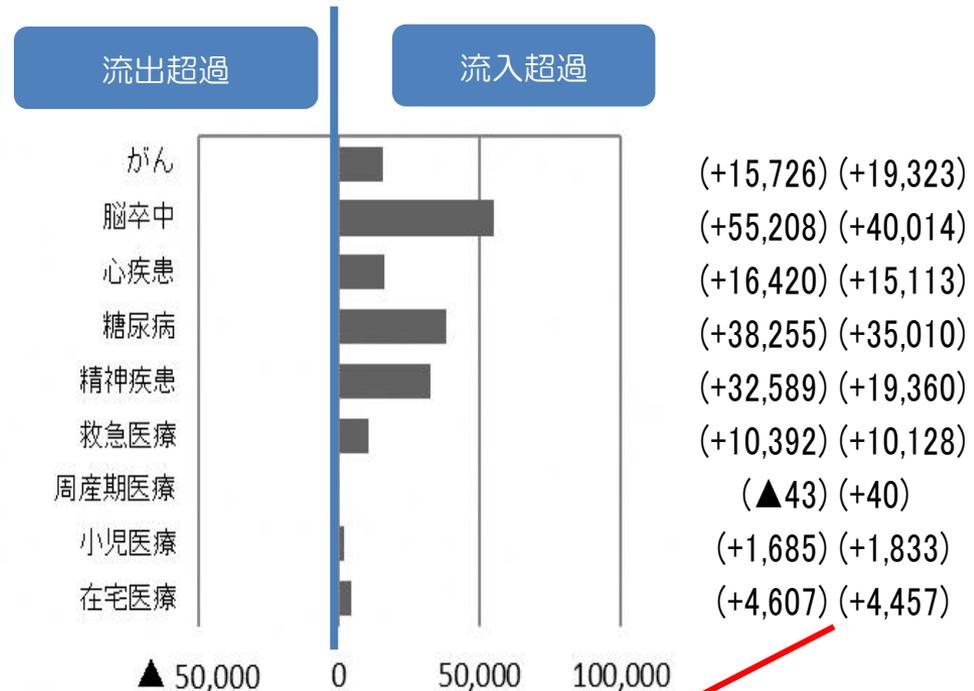
(1)患者受療状況(2016年度NDBデータ【国保・後期高齢者レセプト】)

●住民の入院先医療機関の所在地別割合



救急医療にかかる自己完結率は「84.8%」

●流入患者と流出患者の差(レセプト件数)



【数値標記凡例】

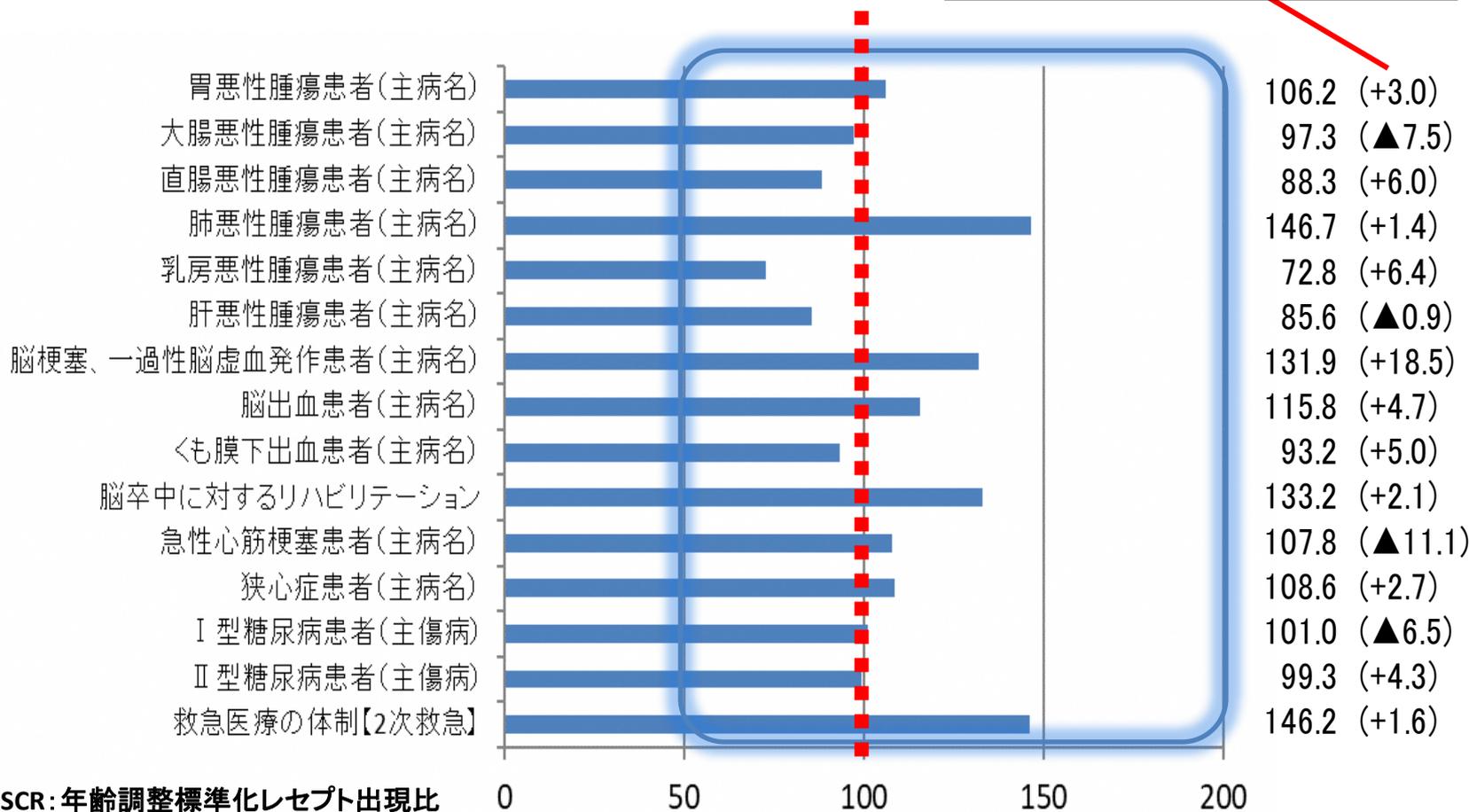
2016年度実績 (2015年度実績との差)

1 堺市二次医療圏の概要 (3) 疾患別の状況②(医療提供状況)

多くの疾患は、SCR(50~200)範囲に含まれており、医療提供実績が極端に低い疾患は見受けられない

(2) 医療提供状況 (SCR※) (2016年度NDBデータ)

【数値標記凡例】
2016年度実績 (2015年度実績との差)



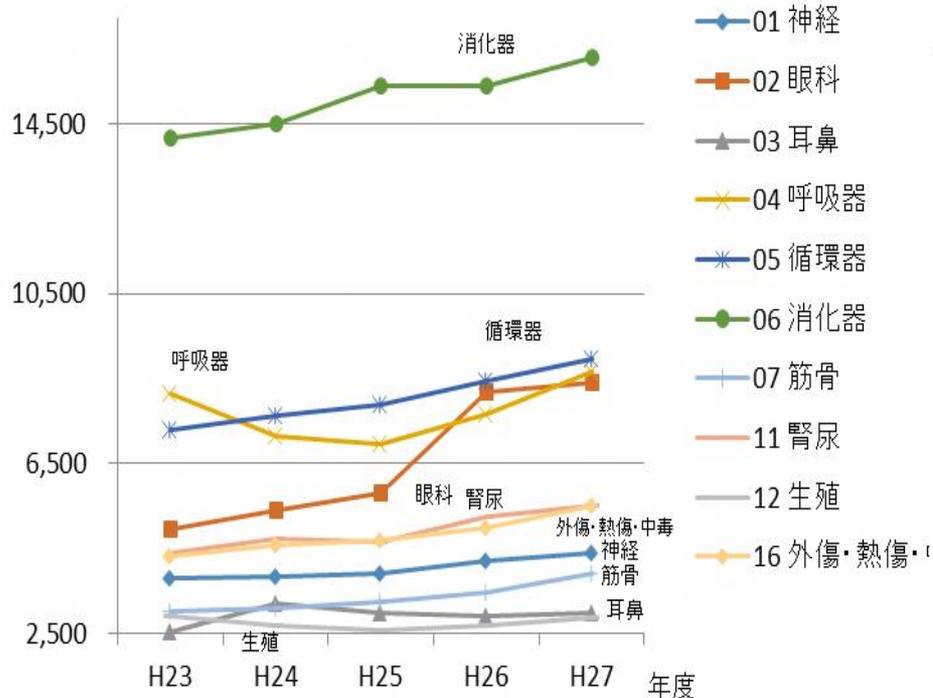
※SCR: 年齢調整標準化レセプト出現比

1 堺市二次医療圏の概要 (3) 疾患別の状況③(診療実績の推移)

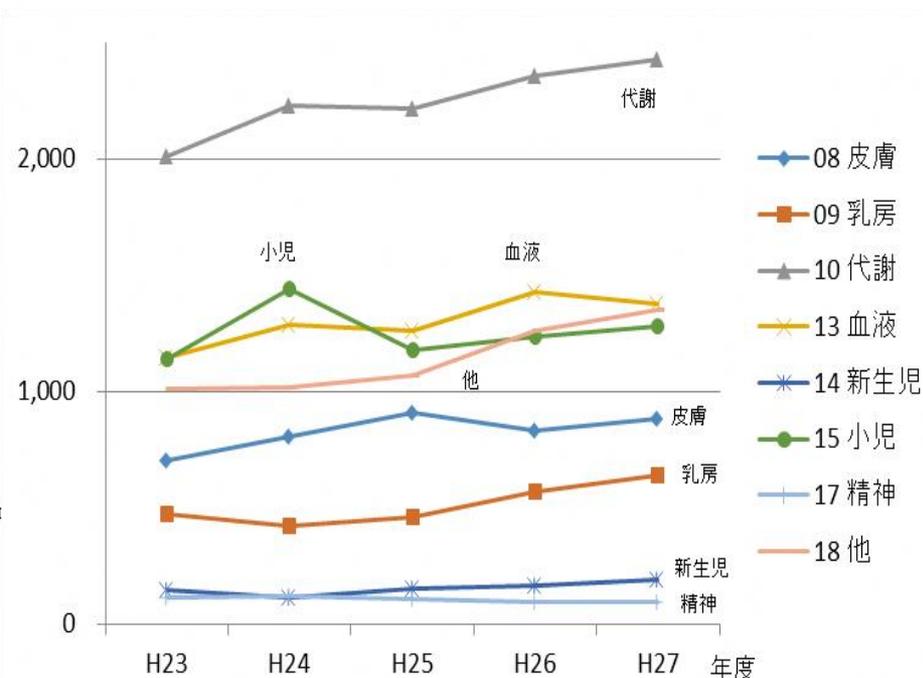
部位別の診療実績から、多くの部位において需要は増加傾向、もしくは横ばいの状態で推移している

ODPC参加病院のMDC※別診療実績の総計推移(堺市)

● 診療実績2,500件以上



● 診療実績概ね2,500件未満

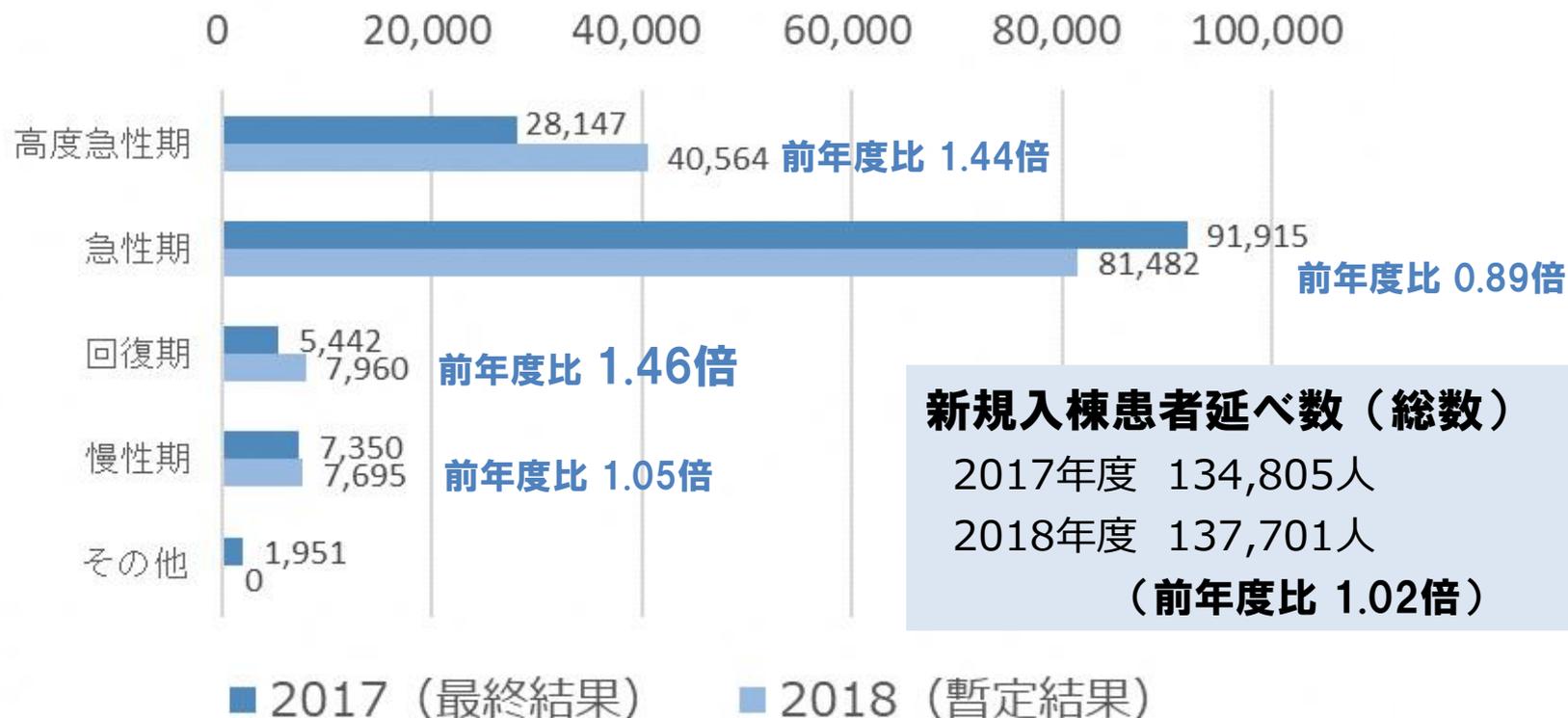


※MDC: Major Diagnostic Categoryの略、18群に分類された主要診断群

1 堺市二次医療圏の概要 (4) 入院患者の推移①(新入棟患者数)

新規入棟患者(総数)は微増しており、
高度急性期、回復期において増加率が高い

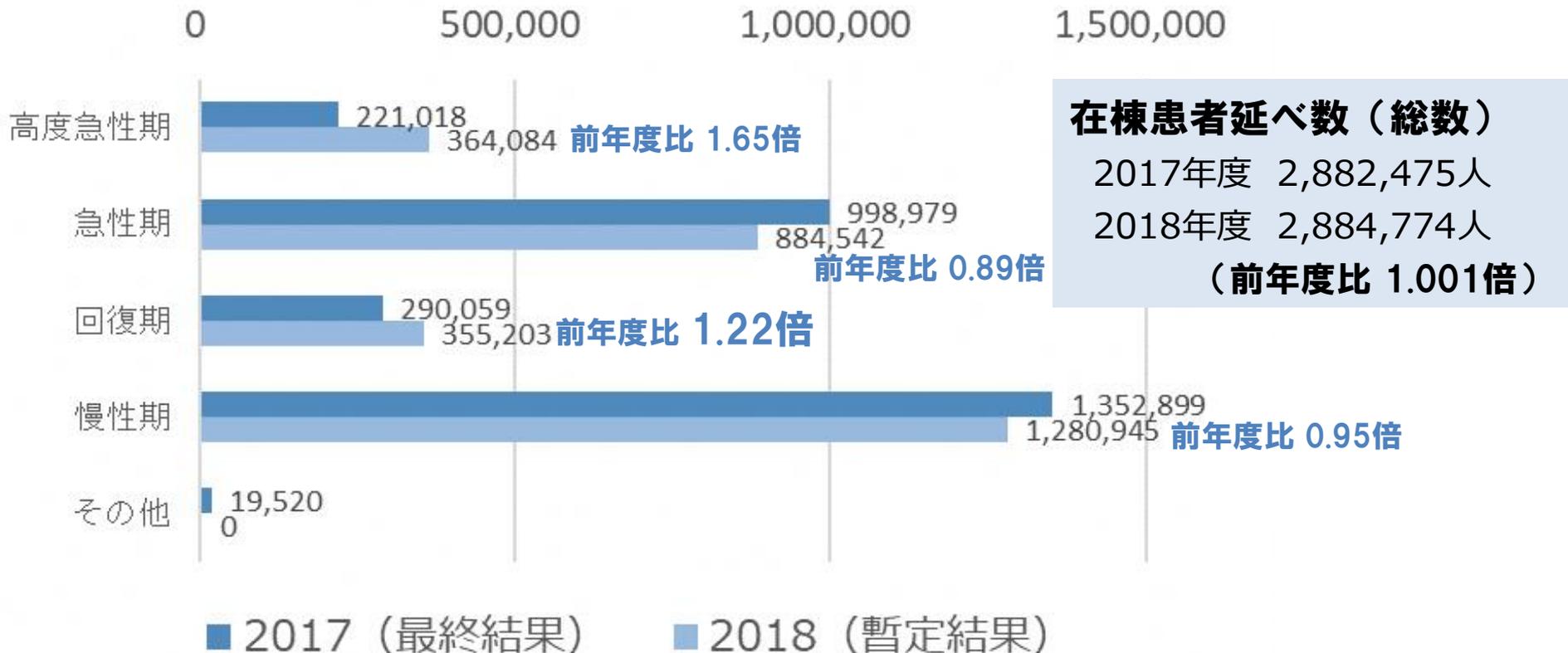
● 新規入棟患者数の推移



1 堺市二次医療圏の概要 (4) 入院患者の推移②(在棟患者数)

在棟患者数は、高度急性期、回復期において増加率が高い

● 在棟患者延べ数の推移



出典 病床機能報告

1 堺市二次医療圏の概要 (5) 在宅医療提供体制①

人口10万当たりの在宅療養支援病院数は大阪府平均より高く、
在宅療養後方支援病院数は、大阪府平均より低い

●在宅医療提供体制(人口10万人対施設数)

	訪問診療を 実施している 診療所	在宅療養支 援診療所	再掲) 機能強化型	在宅療養支 援病院	再掲) 機能強化型	在宅療養後 方支援病院	退院支援加 算届出施設 数	訪問診療を 実施している 歯科診療 所(居宅)	訪問診療を 実施している 歯科診療 所(施設)	在宅療養支 援歯科診療 所	在宅患者調 剤加算の届 出薬局	訪問看護入 ターション	再掲) 機能強化型
豊能	21.9	18.5	3.8	0.48	0	0.19	2.7	9.8	7.3	11.6	15	10.5	0.19
三島	19.5	21.2	2	0.94	0.54	0.54	3.1	6.7	5.4	7.1	14.9	7.8	0.54
北河内	17.2	12.7	2.1	1.37	0.26	0.17	2.9	7.6	7.8	9.8	15.5	10.9	0.26
中河内	20.4	19.2	3.9	0.95	0.47	0.12	2.3	9.7	7.4	11.2	10.2	10.7	0.47
南河内	20.9	19.7	3.8	1.31	0.98	0.33	3.1	9.3	8.6	12.1	14.5	12.4	0.16
堺市	20.7	19.2	3.1	1.31	0.6	0.24	2.5	10.1	7.4	11.7	15.6	13.6	0.48
泉州	17.6	14.5	3.5	2.21	0.55	0.33	2.8	7.8	8.4	10.9	12	11.5	0.22
大阪市	29.1	29.2	5.2	1.3	0.71	0.63	2.9	11.1	9.3	14.5	18.7	12.3	0.48
大阪府	22.5	21	3.8	1.24	0.52	0.37	2.8	9.4	8	11.8	15.5	11.4	0.37

参照：第7次大阪医療計画一部改変

1 堺市二次医療圏の概要 (5) 在宅医療提供体制②

人口10万当たりの在宅医療関係施設数は、行政区間でばらつきがある

●在宅医療提供体制(人口10万人対施設数)

	訪問診療を実施している診療所	在宅療養支援診療所	再掲)機能強化型	在宅療養支援病院	再掲)機能強化型	在宅療養後方支援病院	退院支援加算届出施設数	訪問診療を実施している歯科診療所(居宅)	訪問診療を実施している歯科診療所(施設)	在宅療養支援歯科診療所	在宅患者調剤加算の届出薬局	訪問看護ステーション	再掲)機能強化型
堺区	31.0	25.0	2.0	0.67	0	0.67	2.0	19.6	11.5	18.9	25.0	14.8	0
中区	16.9	17.7	2.4	1.61	0.80	0	3.2	9.6	8.8	12.0	15.3	16.9	1.61
東区	20.0	21.1	2.3	1.17	0	0	1.2	4.7	9.4	15.3	11.7	11.7	0
西区	24.3	22.8	5.2	2.21	1.47	0	4.4	5.9	3.7	9.6	19.9	14.7	1.47
南区	16.9	12.2	2.0	0	0	0.68	1.4	12.9	9.5	10.8	6.8	11.5	0
北区	17.0	17.6	3.1	1.89	0.63	0	3.1	6.3	3.8	6.3	15.1	9.4	0
美原区	12.8	17.9	7.7	2.55	2.55	0	0	7.7	2.6	7.7	10.2	23.0	0
堺市	20.7	19.2	3.1	1.31	0.60	0.24	2.5	10.1	7.4	11.7	15.6	13.6	0.48
大阪府	22.5	21.0	3.8	1.24	0.52	0.37	2.8	9.4	8.0	11.8	15.5	11.4	0.37

出典第7次大阪医療計画一部改変

1 堺市二次医療圏の概要 (6) 診療実態の分析の結果

堺市二次医療圏における回復期機能を担う病床数は、2025年の病床数の必要量の割合に近づいた

● 病床機能報告と病床数の必要量の比較

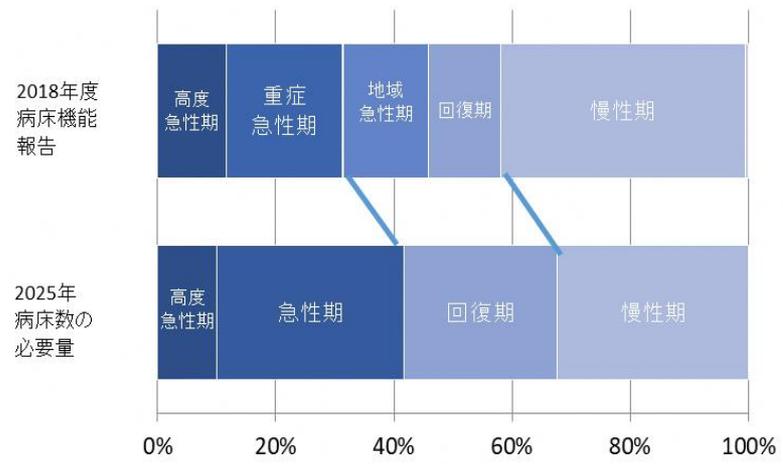
(単位:床)

区分	年度	高度急性期	急性期			回復期	慢性期	休棟等	未報告等	合計
			重症急性期	急性期(不明)	地域急性期					
病床数の必要量	2013	861	2,529			1,959	3,947			9,296
病床機能報告	2014	804	3,449			971	3,793	67	472	9,556
病床機能報告	2015	652	3,625			742	3,952	54	528	9,553
病床機能報告	2016	679	3,560			845	4,003	123	256	9,466
病床機能報告	2017	702	3,372	2,547	0	825	4,063	221	12	9,333
病床機能報告(暫定)	2018	1,093	3,200	1,829	28	1,343	3,871	54	—	9,345
病床数の必要量【既存病床数内】	2025	936	2,955			2,429	3,025			9,345
病床数の必要量【オリジナル】※	2025	991	3,128			2,571	3,202			9,892

※地域医療構想策定ガイドラインに基づく数値

● 病床機能報告(2018年度)と病床数の必要量(2025年)の割合の比較

区分	年度	高度急性期	急性期			回復期	慢性期	休棟等	未報告等	
			重症急性期	急性期(不明)	地域急性期					
病床機能報告	2017	7.5%		27.3%	0.0%	8.9%	10.3%	43.6%	2.4%	—
病床機能報告(暫定)	2018	11.7%		19.5%	0.3%	14.3%	12.3%	41.3%	0.6%	—
病床数の必要量	2025	10.0%		31.6%		26.0%	32.4%			



サブアキュート・ポストアキュート・リハビリ機能の現状と将来の予測

① 病床機能報告(地域急性期+回復期)

2017年度	19.2%
2018年度(暫定)	26.6%

② 病床数の必要量(回復期)

26.0%

割合の差
▲0.6%
(約100床)

※2018年は暫定集計(病床機能報告集計日:2019年2月15日)

2 高度急性期から急性期(急性期一般)の概要 (1) 病床の現状

多くの入院料は、人口10万当たりの報告病床数が府平均より低く、病床稼働率については府平均より高いものが多い

●入院基本料・特定入院料別報告

入院料区分	堺市				大阪府			
	病床数	前年との差	人口10万当たり病床数	前年との差	病床数	前年との差	人口10万当たり病床数	前年との差
救命救急入院料・特定集中治療室管理料等	144床	0床	17床	0床	2,155床	84床	24床	1床
小児入院医療管理料	111床	25床	13床	3床	1,827床	▲74床	21床	▲1床
特定機能病院一般病棟入院基本料等	0床	0床	0床	0床	5,016床	71床	57床	1床
急性期一般入院料1(一般病棟7対1)	2,301床	▲335床	276床	▲40床	27,681床	▲369床	313床	▲5床
急性期一般入院料1【高度急性期での報告】	949床	391床	114床	47床	5,995床	332床	68床	4床
急性期一般入院料1【急性期での報告】	1,352床	▲531床	162床	▲64床	21,627床	▲376床	245床	▲4床
急性期一般入院料2～7(一般病棟10対1)	1,203床	294床	144床	35床	8,657床	▲6床	98床	0床

●病床の利用状況

入院料区分	堺市				大阪府			
	病床稼働率	前年との差	平均在棟日数	前年との差	病床稼働率	前年との差	平均在棟日数	前年との差
救命救急入院料・特定集中治療室管理料等	70.9%	10.4%	3.4	0.1	75.7%	5.2%	5.1	0.4
小児入院医療管理料	80.9%	4.2%	5.9	0.3	70.1%	▲4.3%	6.4	▲0.3
特定機能病院一般病棟入院基本料等	0.0%	0.0%	0.0	0.0	86.2%	5.5%	11.2	▲1.0
急性期一般入院料1(一般病棟7対1)	94.3%	9.2%	10.0	0.2	83.7%	1.8%	10.7	▲0.2
急性期一般入院料1【高度急性期での報告】	94.4%	1.5%	11.0	0.8	85.8%	0.6%	10.6	0.3
急性期一般入院料1【急性期での報告】	94.2%	6.4%	9.5	▲0.2	83.4%	1.5%	10.7	▲0.3
急性期一般入院料2～7(一般病棟10対1)	61.7%	▲12.3%	15.1	▲1.0	78.2%	2.5%	15.4	0.3

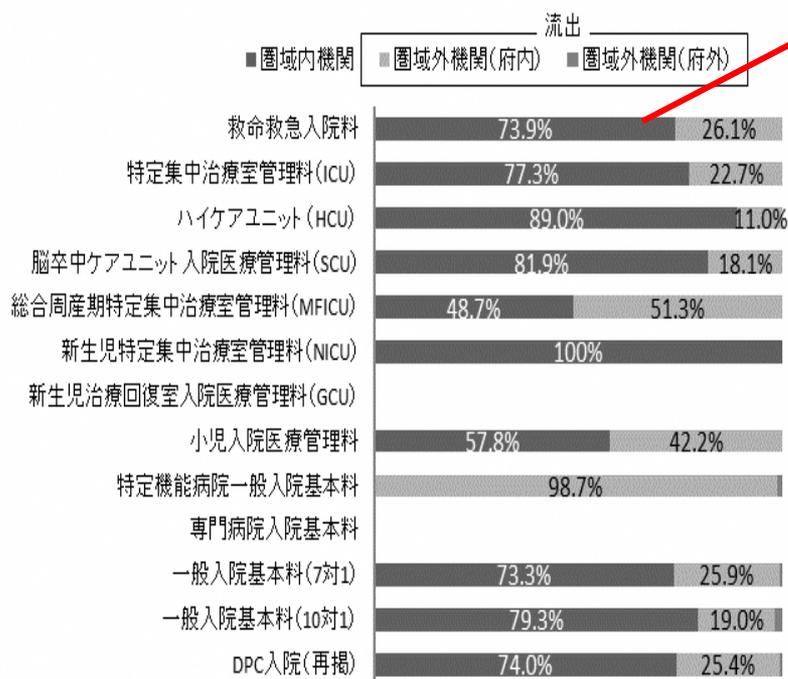
入院料の自己完結率は7割以上がほとんどと比較的高く、「特定機能病院一般入院基本料」等を除く入院料において、流入超過の傾向が見られる

○入院基本料別の状況

(1)患者受療状況(2016年度NDBデータ【国保・後期高齢者レセプト】)

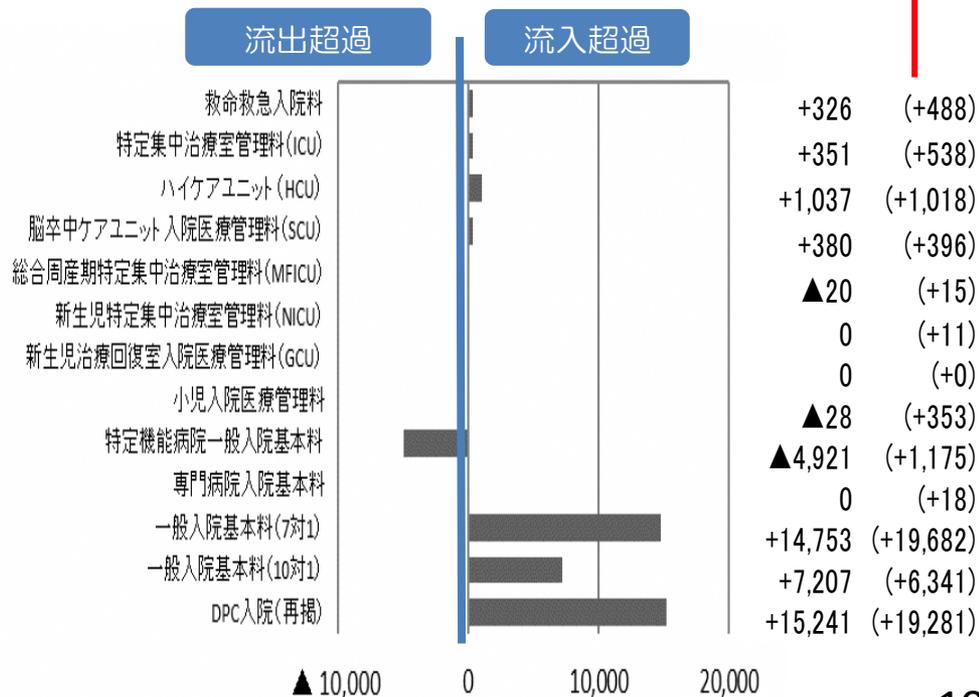
●住民の入院先医療機関の所在地別割合

救命救急入院料にかかる自己完結率は「73.9%」



●流入患者と流出患者の差(レセプト件数)

【数値標記凡例】
2016年度実績 (2015年度実績との差)

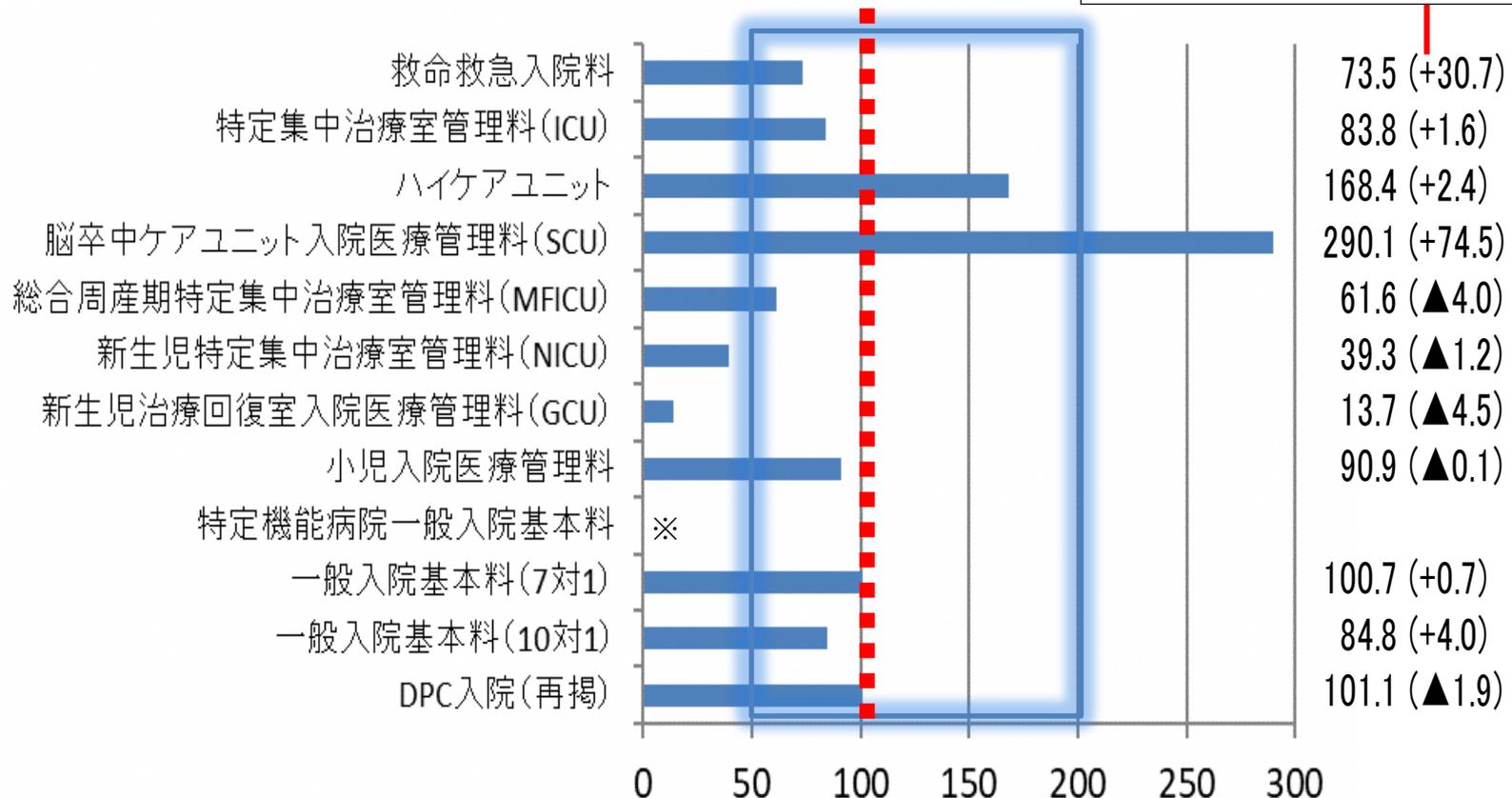


2 高度急性期から急性期(急性期一般)の概要 (2) 患者受療・医療提供状況 (NDB) ②

多くの入院料は、SCRが50～200の範囲内に含まれるが、一部入院料において50を下回っている

(2) 医療提供状況 (SCR) (2016年度NDBデータ)

【数値標記凡例】
2016年度実績 (2015年度実績との差)



※特定機能病院一般入院基本料は、入院料を取得している医療機関がないため未算出

2 高度急性期から急性期(急性期一般)の概要 (3) 現状と課題のまとめ

- 多くの入院料は、人口10万当たりの病床数が府平均より低く、病床稼働率については府平均より高いものが多い。
- 今後は、近畿大学病院の開設が検討されていることを踏まえ、急性期の医療体制の在り方について検討していく必要がある。

3 急性期(地域一般)から回復期の概要 (1) 病床の現状

人口10万当たりの報告病床数は、「地域一般入院料1、2」と「地域一般入院料3」において、府平均を下回っている

●入院基本料・特定入院料別報告

入院料区分	堺市				大阪府			
	病床数	前年との差	人口10万当たり病床数	前年との差	病床数	前年との差	人口10万当たり病床数	前年との差
地域一般入院料1、2（一般病棟13対1）	176床	16床	21床	2床	2,158床	▲72床	24床	▲1床
地域一般入院料3（一般病棟15対1・特別）	110床	▲3床	13床	▲0床	2,772床	▲566床	31床	▲7床
地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料	448床	129床	54床	15床	3,785床	501床	43床	6床
回復期リハビリテーション病棟入院料	611床	129床	73床	15床	5,993床	141床	68床	2床
緩和ケア病棟入院料	79床	15床	9床	2床	643床	50床	7床	0床

●病床の利用状況

入院料区分	堺市				大阪府			
	病床稼働率	前年との差	平均在棟日数	前年との差	病床稼働率	前年との差	平均在棟日数	前年との差
地域一般入院料1、2（一般病棟13対1）	48.9%	▲17.0%	16.8	▲3.2	63.5%	▲5.6%	21.6	0.1
地域一般入院料3（一般病棟15対1・特別）	71.3%	▲2.5%	32.9	▲2.5	72.5%	2.0%	38.8	4.0
地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料	85.5%	21.8%	29.4	1.1	83.5%	5.8%	25.2	1.2
回復期リハビリテーション病棟入院料	85.3%	▲9.9%	64.8	▲1.9	87.3%	▲2.3%	59.1	▲2.3
緩和ケア病棟入院料	63.5%	▲16.8%	18.9	▲6.0	68.3%	▲2.4%	22.9	▲2.3

出典 病床機能報告（結果は暫定集計）

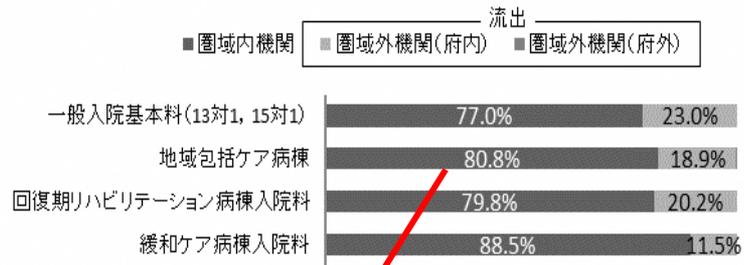
3 急性期(地域一般)から回復期の概要 (2) 患者受療・医療提供状況(NDB)①

すべての入院料について、自己完結率(圏域内の医療機関で入院する割合)は7割を超えており、流入超過の傾向が見られる

○入院基本料別の状況

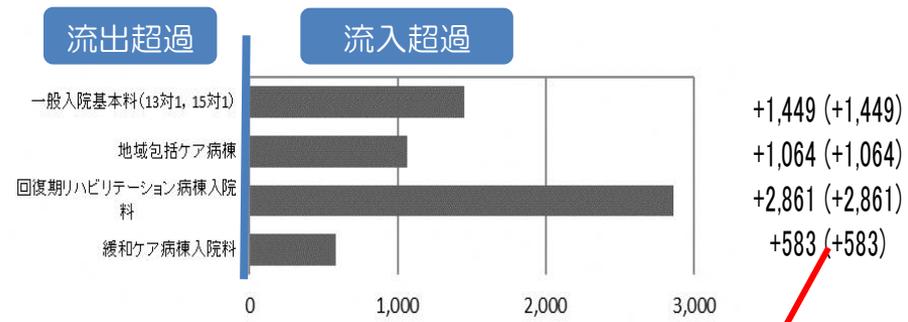
(1)患者受療状況(2016年度NDBデータ【国保・後期高齢者レセプト】)

●住民の入院先医療機関の所在地別割合



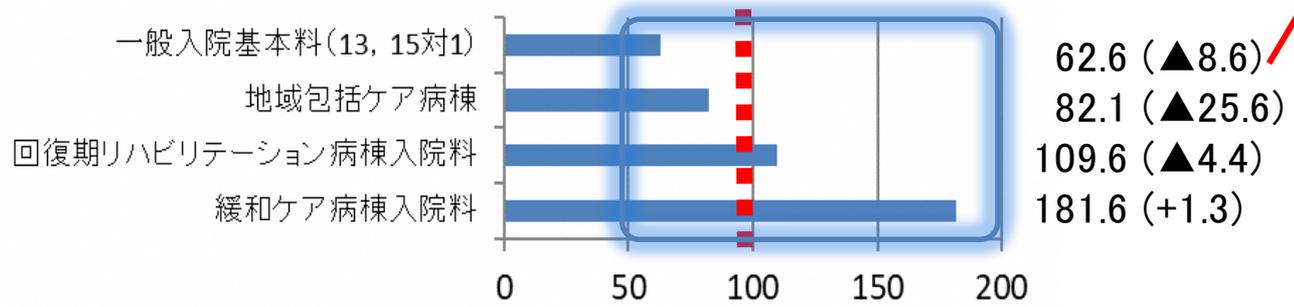
地域包括ケア病棟の自己完結率は「80.8%」

●流入患者と流出患者の差(レセプト件数)



【数値標記凡例】
2016年度実績 (2015年度実績との差)

(2)医療提供状況(SCR)(2016年度NDBデータ)

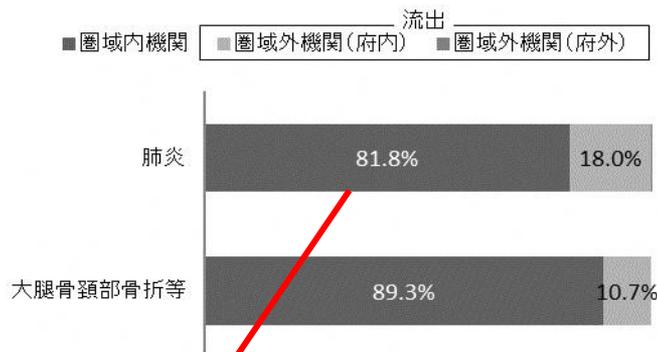


肺炎・大腿骨頸部骨折について、自己完結率(圏域内の医療機関で入院する割合)は、8割を超えており、また、流入超過の傾向が見られる

○肺炎・大腿骨頸部骨折

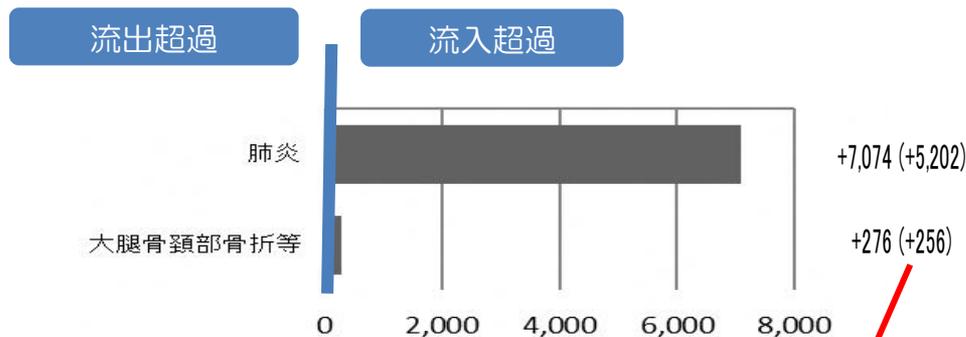
(1) 患者受療状況(2016年度NDBデータ【国保・後期高齢者レセプト】)

● 住民の入院先医療機関の所在地別割合



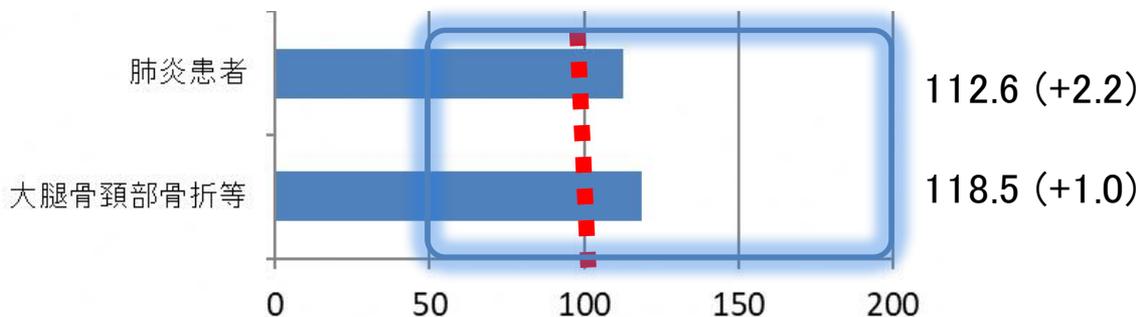
肺炎の自己完結率は「81.8%」

● 流入患者と流出患者の差(レセプト件数)



【数値標記凡例】
2016年度実績 (2015年度実績との差)

(2) 医療提供状況(SCR) (2016年度NDBデータ)



3 急性期(地域一般)から回復期の概要 (3) 現状と課題のまとめ

○すべての入院料について、

自己完結率は7割を超えており、流入超過となっている。

○人口10万当たりの報告病床数は「地域一般入院料1、2」と「地域一般入院料3」において、府平均を下回っている。

4 長期療養(慢性期)の概要 (1) 病床の現状

人口10万当たりの報告病床数は、「療養病棟入院基本料」については府平均の約2倍と高く、「介護療養病床」については府平均を下回っている

●入院基本料・特定入院料別報告

入院料区分	堺市				大阪府			
	病床数	前年との差	人口10万当たり病床数	前年との差	病床数	前年との差	人口10万当たり病床数	前年との差
療養病棟入院基本料	3,156床	▲ 155床	378床	▲ 19床	17,007床	210床	193床	3床
介護療養病床	96床	▲ 35床	12床	▲ 4床	1,483床	▲ 305床	17床	▲ 3床
障害者施設等・特殊疾患病棟入院料	737床	42床	88床	5床	6,295床	406床	71床	4床

●病床の利用状況

入院料区分	堺市				大阪府			
	病床稼働率	前年との差	平均在棟日数	前年との差	病床稼働率	前年との差	平均在棟日数	前年との差
療養病棟入院基本料	90.6%	▲0.2%	198.0	▲ 22.9	88.6%	0.2%	209.9	▲ 7.2
介護療養病床	81.2%	▲16.4%	258.6	28.6	83.0%	▲10.0%	322.6	▲ 16.4
障害者施設等・特殊疾患病棟入院料	93.8%	0.5%	100.8	▲ 1.5	89.2%	2.5%	85.0	▲ 10.4

出典 病床機能報告（結果は暫定集計）

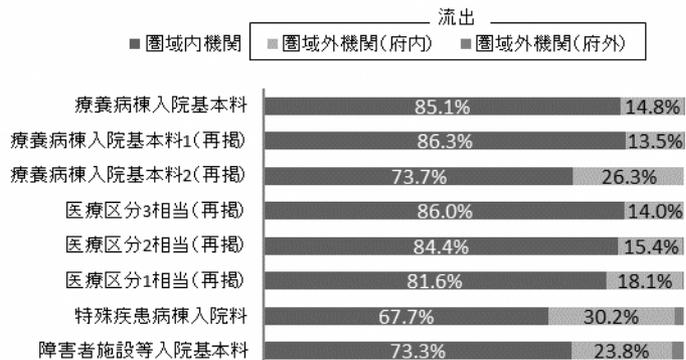
4 長期療養(慢性期)の概要 (2) 患者受療・医療提供状況(NDB)

ほとんどの入院料において自己完結率(圏域内の医療機関で入院する割合)は7割を超えており、またすべての入院料で流入超過が見られる

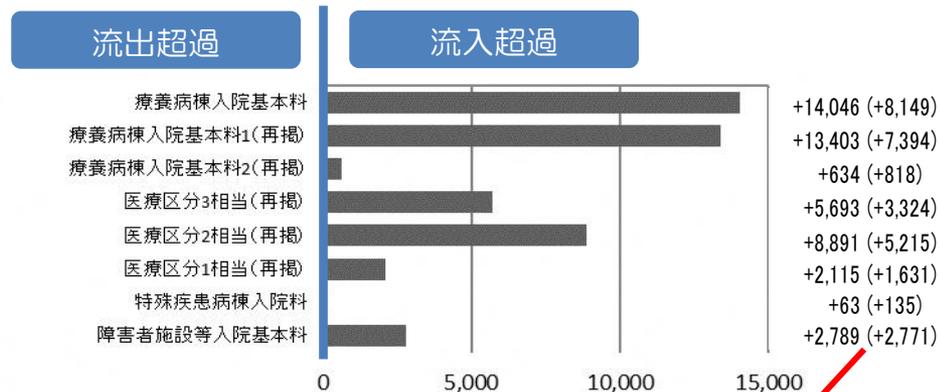
○入院基本料別の状況

(1) 患者受療状況(2016年度NDBデータ【国保・後期高齢者レセプト】)

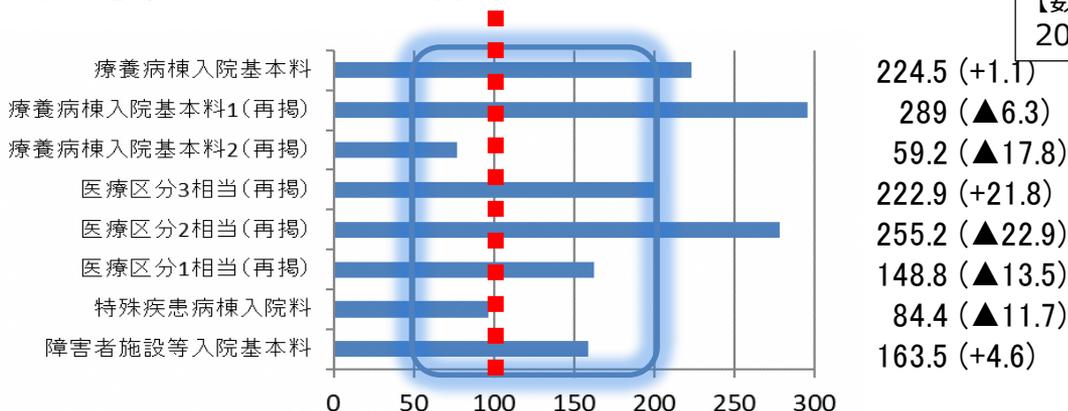
● 住民の入院先医療機関の所在地別割合



● 流入患者と流出患者の差(レセプト件数)



(2) 医療提供状況(SCR) (2016年度NDBデータ)



【数値標記凡例】
2016年度実績 (2015年度実績との差)

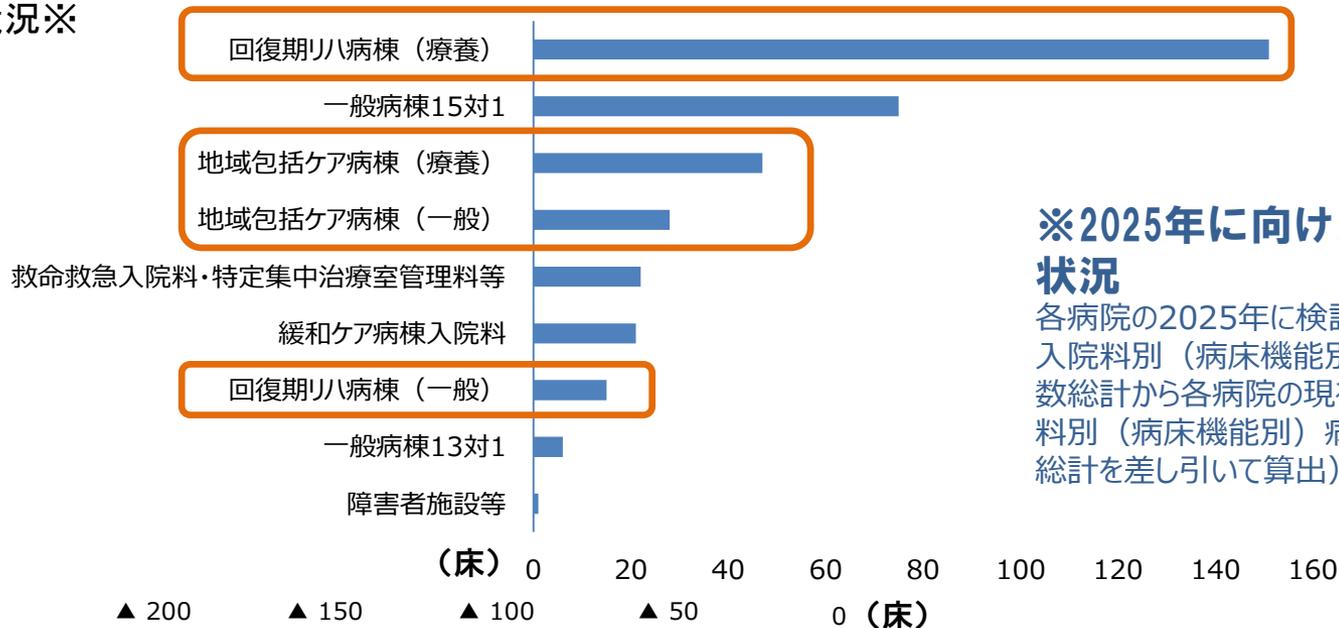
4 長期療養(慢性期)の概要(3) 現状と課題のまとめ

- ほとんどの入院料において自己完結率が高く、すべての入院料で流入超過の状況である。
- 「介護療養病床」の人口10万当たりの報告病床数は、府平均を下回っている。
- 今後の需要に対応した病床機能分化を図っていくには、療養病床の介護施設への転換の状況にも留意しながら、検討していく必要がある。

5 将来のあるべき医療体制に向けて (1) 2025年に向け各病院が検討している病床機能①

各病院が検討している病床機能等の変更は、
構想がめざす病床機能分化の方向性と概ね一致

●入院料別の検討状況※

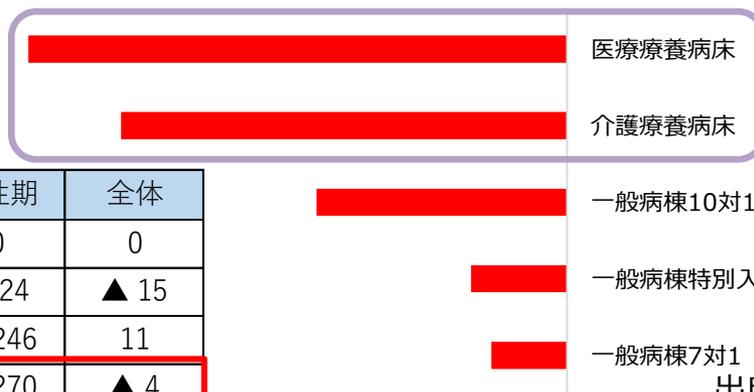


※2025年に向けた検討状況

各病院の2025年に検討している入院料別（病床機能別）病床数総計から各病院の現在の入院料別（病床機能別）病床数の総計を差し引いて算出

●公立・公的・民間別の検討状況※

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	全体
公立	0	0	0	0	0
公的	22	▲ 13	0	▲ 24	▲ 15
民間等	0	12	245	▲ 246	11
合計	22	▲ 1	245	▲ 270	▲ 4



5 将来のあるべき医療体制に向けて(1) 2025年に向け各病院が検討している病床機能②

堺市二次医療圏では、一法人が2019年4月に病院を再編

●再編前

	公立・公的・民間	医療機関名	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	非稼働	計
西区	民間等 (恵泉会)	浜寺中央病院	0	0	22	85	0	107
中区		堺温心会病院	0	45	0	144	0	189
		計	0	45	22	229	0	296



●再編後

再編時期	医療機関名	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
2019年4月	堺平成病院	0	0	180	116	296
増減		0	▲45	+158	▲113	0

5 将来のあるべき医療体制に向けて（2）2025年に向け各病院が検討している病床機能のまとめ

- 各病院が検討している病床機能等の変更は、
構想が目指す病床機能分化の方向性と概ね一致している。
- 将来あるべき姿の到達度を測定する指標において、回復期機能を担う病床数は、2025年の病床数の必要量の割合に近づいた。